

# DX戦略 (2023~2026年度)

令和7年4月9日 三島信用金庫 (Ver.1.1)



# DXへの取り組み



近年、Alをはじめとするデジタル技術が大きく進歩しています。このような変化に柔軟に対応し、次なる成長を目指すためには、デジタルトランスフォーメーション(DX)は欠かせません。そこで、当金庫では、中期経営計画「地域を未来にTUNAGU」を実現するための「DX戦略」を策定しております。

私たちのビジョンは、「デジタルとFace to Faceの融合により元気な地域を創造する」ことです。地域と当金庫が持続的に共存し、地域に笑顔が広がることを願っています。最新のデジタル技術を活用し、お客さまのニーズに応じた新たな価値とサービスを提供することで、地域の皆さまのご期待に応えてまいります。

今後とも、三島信用金庫グループの総合力を発揮し、地域社会の発展に貢献する取り組みを進めてまいります。皆さまのご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

三島信用金庫 惠嶋 広芳

# 1. DX戦略の方向性



# アジタルとFace to Faceの融合により元気な地域を創造する

#### DX戦略上の重要課題

- ✓ お客さまニーズの多様化
- ✓ 事務処理の効率化
- ✓ デジタル時代への対応

# DX戦略

~ 3つの柱~

- I. お客さま利便性の追求
- Ⅱ.業務プロセスの革新
- Ⅲ.人財育成

元気な地域の創造

コンタクトイノベーション の実現

2021-2023 中期経営計画 「この街と元気に」

∼危機の克服、そして新たな未来へ~

2024スタート 中期経営計画



地域を未来に **『TUNAGU』** 

これまで

2024年

2026年

# 2. DX戦略 I:お客さま利便性の追求



### コンセプト

## お客さまニーズの多様化に対し新たなサービスを提供します

具体的施策 ✓ Web、アプリで完結できる新サービス追加 ①非対面チャネルの拡大 ✓ 訪問、来店、電話以外のチャネル確立 個人の お客さま ✓ ソーシャル広告によるプロモーション拡充 ②新たなプロモーション戦略展開 ✓ デジタルマーケティングにもとづくアプローチ ✓ 事業者向けポータルの機能拡張 コンタクトイノベーション ③事業拡大の伴走支援 事業者 ✓ D X 支援・デジタル化支援 のお客さま お客さま視点での ✓ ビジネスマッチング支援の拡充 ④新たなプロモーション戦略展開 ✓ データドリブンによるコンサル支援 サービスの利便性向上 新たなビジネスの創出 ✓ 観光ビジネスの活性化支援 ⑤地域の事業創出 ✓ スタートアップ支援 地域 ✓ デジタルサポーター活動の展開 ⑥ITリテラシー定着への取組み ✓ ウェビナー・オンラインイベントの実施

# 3. DX戦略 II:業務プロセスの革新

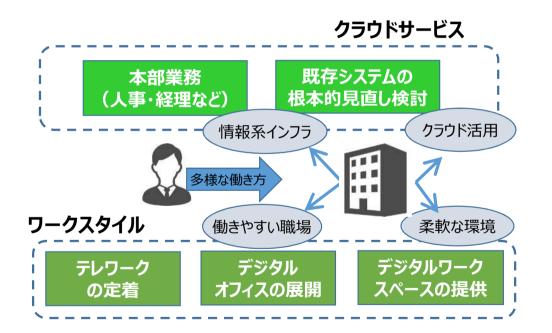


コンセプト

## お客さまへの提案時間を増加させるため、業務プロセスの革新を進めます

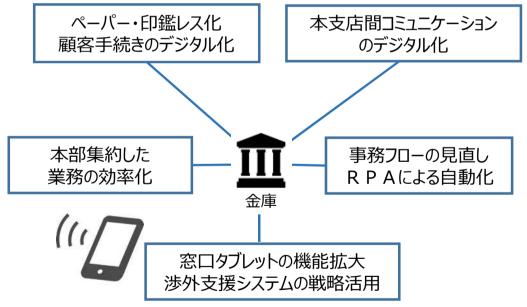
#### ワークスタイルの変革

デジタル化の促進で効率的な業務環境を整備



#### 業務プロセスの革新

デジタルを活用した業務プロセスの効率化を促進



# 4. DX戦略Ⅲ:人財育成



コンセプト

# デジタル時代のお客さま支援に対応するための人財を育成します

#### 変革への態勢構築

- ✓ ITリテラシーの向上
- ✓ キャリアプランの検討
- ✓ 学ぶ風土の醸成(リスキリング等)

#### 意識と行動の変革

- ✓ 新しい昇格要件の検討
- ✓ キャリアプランの実現
- ✓ 新しい働き方の検討

#### 経営理念の実現

- ✓ デジタル人財育成体系の構築
- ✓ キャリアプランの定着化
- ✓ セカンドキャリアへのチャレンジ (人的交流含む)

ITとデジタル知識の理解深化

チャレンジする意識の醸成

地域への付加価値提供

#### デジタル人財育成目標

- ▶ 推奨資格
- •DX関連資格(ITパスポート等)の取得者数
- •デジタルサポーター認定者数

コンサルティング 能力の向上

# 5. DX推進体制



- ◆「デジタルイノベーション課」を2024年4月に新設。金庫全体のデジタル化の統括管理を行う
- ◆ テーマ毎に関係者を集めプロジェクト体制を構築し、DX施策のスピード化を図る

### 経営(理事会、常務会)

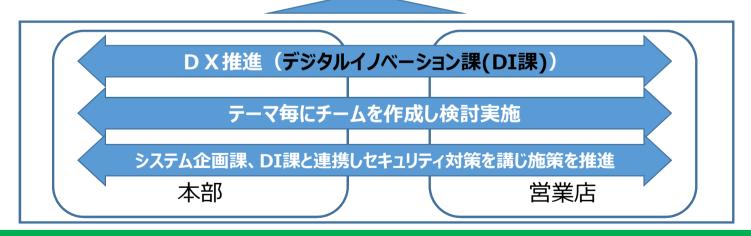
#### DX推進委員会

組織全体のデジタル化を統括管理

委員長 : 理事長

副委員長 : 専務理事もしくは、常務理事

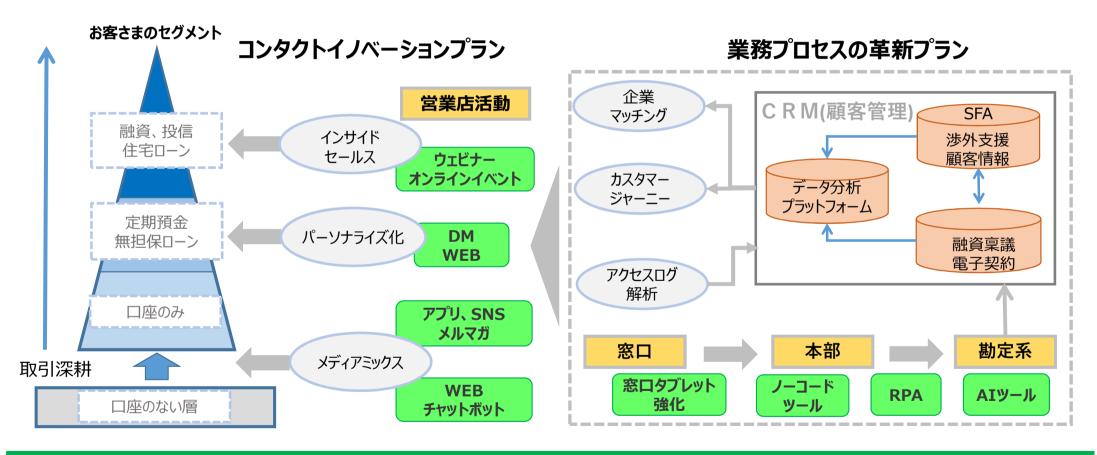
委員:各部部長



# 6. DX戦略の概念図(環境整備)



本部業務の効率化に加え、データ利活用とメディアミックスのためのデジタル環境を整備します



# 7. DX評価指標



# DX戦略の観点からKPIを設定

項目	2026年度末までの施策	指標
お客さま利便性の追求	<b>非対面チャネルの拡大</b> (1)非対面チャネルによるリテール部門の利用拡大 (2)投信インターネットサービスの推進	(1)アプリの非対面取引件数(4,000件) WEB個人ローン受付件数(累計10,000件) (2)投資先数に占める割合(75%)
	事業拡大の伴走支援 (3)営業担当者の活動を進化させ、マッチング商材ビジネス仕組化	(3)本業支援件数(累計5,000件)
	新たなプロモーション戦略展開 (4)市場、分析のデータ活用による事業所訪問	(4)事業所開拓件数(累計1,500件)
業務プロセス の革新	<b>業務プロセスの革新</b> (5)RPA等を活用した事務処理削減 (6)システムの活用による事務プロセスの改善 (7)AIを業務活用できる環境の構築 (8)窓口タブレットの利用範囲拡大	(5)事務処理削減件数(累計50件) (6)業務削減時間(累計20,000時間) (7)AI利用環境の構築、AIの業務活用(10件) (8)定期性預金手続き時の利用率(50%以上)
人財育成	デジタル人財育成 (9)金融+ITスキル→社会変化の中で新たな価値を生み出すために 必要なマインドスタンスの醸成	(9)DX関連資格(ITパスポート等)の取得者数 (300人)

# **三島信用金庫**